

本テキストに一部誤植がありました。  
 下記のとおり訂正するとともに、深くお詫び申し上げます。

1. 該当分冊：第4分冊 P.26

【誤】



※誤植箇所を赤枠表示しています。

【正】



【誤】

◆車両のバランスを崩しやすい

車を運転中、急カーブを曲がる時、体にはカーブの外側へ持って行かれる力を感じます。この力を遠心力といいます。遠心力はもちろん体だけでなく車両全体に加わる力です。

この遠心力は、

- ・ 速度に比例して大きくなる
  - ・ カーブの半径に反比例して大きくなる
  - ・ 車の重量に比例して大きくなる
- といった性質があります。

したがって、過積載をした場合は重量が重くなる分だけこの遠心力が大きく作用することになります。

また、過積載をすると一般的には重心が高くなります。

図8のように、重心が低いAと重心が高いBを比べると、平坦な場所での安定度は同じでも、斜面ではBの方が重心位置のズレが大きく不安定になることがわかります

このように重心が高くなると、走行中の路面の凸凹や段差などによって左右の揺れがひどくなり、バランスを崩して横転事故を起こしやすい状態になります。

とくにカーブを曲がる時には、遠心力がさらに大きくなるため、カーブを曲がりきれず、対向車線にはみ出したり、横転する危険があります。

※誤植箇所を赤線表示しています。

【正】

◆車両のバランスを崩しやすい

車を運転中、急カーブを曲がる時、体にはカーブの外側へ持って行かれる力を感じます。この力を遠心力といいます。遠心力はもちろん体だけでなく車両全体に加わる力です。

この遠心力は、

- ・ 速度の2乗に比例して大きくなる
  - ・ カーブの半径に反比例して大きくなる
  - ・ 車の重量に比例して大きくなる
- といった性質があります。

したがって、過積載をした場合は重量が重くなる分だけこの遠心力が大きく作用することになります。

また、過積載をすると一般的には重心が高くなります。

図8のように、重心が低いAと重心が高いBを比べると、平坦な場所での安定度は同じでも、斜面ではBの方が重心位置のズレが大きく不安定になることがわかります

このように重心が高くなると、走行中の路面の凸凹や段差などによって左右の揺れがひどくなり、バランスを崩して横転事故を起こしやすい状態になります。

とくにカーブを曲がる時には、遠心力がさらに大きくなるため、カーブを曲がりきれず、対向車線にはみ出したり、横転する危険があります。